

## 審 議 事 項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定 等
-------	-----	-----------	------------------------------------	-----	-----------

## I 審議事項

## 1. 委員会関係

提案1	(分野別委員会) (1)委員会委員の決定	各部部长	B(3-13)	第25期の開始に伴い、委員会委員を決定する必要があるため。	会長	内規12条、18条
提案2	(課題別委員会) 防災減災学術連携委員会 (1)設置について (2)設置要綱の決定 (3)委員の決定	会長	B(14-20)	日本学術会議会則第十六条の課題別委員会として提案した委員会の設置を決定し、これに伴い、設置要綱の決定を行う必要があるため。	会長	会則16条、内規11条

## II その他

	件名	資料(頁)
1.	幹事会における議事要旨の作成について	C
2.	今後の日程調整について	C



<第 25 期>分野別委員会 委員候補者名簿 (会員のみ)

(言語・文学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
原田 範行	慶應義塾大学文学部教授	第一部会員	新規 (23・24 補欠)
日比谷 潤子	学校法人聖心女子学院常務理事	第一部会員	新規
平田 オリザ	四国学院大学社会学部教授	第一部会員	新規
吉田 和彦	京都産業大学外国語学部客員教授	第一部会員	継続
渡部 泰明	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員	継続

(哲学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
小林 傳司	大阪大学名誉教授・COデザインセンター特任教授	第一部会員	継続
吉岡 洋	京都大学こころの未来研究センター特定教授	第一部会員	新規
吉水 千鶴子	筑波大学人文社会系教授	第一部会員	新規

(心理学・教育学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
遠藤 利彦	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員	継続
岡部 美香	大阪大学大学院人間科学研究科教授	第一部会員	新規
勝野 正章	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員	新規
行場 次朗	尚絅学院大学心理教育学群教授	第一部会員	継続
坂田 省吾	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	第一部会員	新規
西田 眞也	京都大学大学院情報学研究科教授	第一部会員	継続
松井 三枝	金沢大学国際基幹教育院教授	第一部会員	継続
松下 佳代	京都大学高等教育研究開発推進センター教授	第一部会員	継続
吉田 文	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	第一部会員	新規

(社会学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
有田 伸	東京大学社会科学研究所教授	第一部会員	新規
岩井 紀子	日本版総合的社会調査共同研究拠点大阪商業大学 JGSS 研究センターセンター長	第一部会員	新規
佐藤 嘉倫	東北大学大学院文学研究科教授/京都先端科学大学人文学部学部長・教授	第一部会員	継続

白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員	新規
和氣 純子	東京都立大学大学院人文科学研究科教授	第一部会員	新規

(史学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
栗田 禎子	千葉大学大学院人文科学研究院教授	第一部会員	継続
佐野 正博	明治大学経営学部教授	第一部会員	継続
芳賀 満	東北大学教授	第一部会員	新規
橋本 伸也	関西学院大学文学部教授	第一部会員	継続
若尾 政希	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員	継続

(地域研究委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授	第一部会員	新規
小長谷 有紀	独立行政法人日本学術振興会監事	第一部会員	新規
高倉 浩樹	東北大学東北アジア研究センター教授	第一部会員	継続
高橋 裕子	津田塾大学学長・教授	第一部会員	新規
松原 宏	東京大学大学院総合文化研究科教授	第一部会員	継続
三尾 裕子	慶應義塾大学文学部教授	第一部会員	新規
矢野 桂司	立命館大学文学部教授	第一部会員	新規

(法学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科教授	第一部会員	新規
大塚 直	早稲田大学法学部教授	第一部会員	新規
亀本 洋	明治大学法学部教授	第一部会員	継続
川嶋 四郎	同志社大学法学部法律学科教授	第一部会員	新規
高村 ゆかり	東京大学未来ビジョン研究センター教授	第一部会員	継続
高山 佳奈子	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員	継続
水野 紀子	白鷗大学法学部教授	第一部会員	継続
三成 賢次	大阪大学理事・副学長	第一部会員	新規
南野 佳代	京都女子大学法学部教授	第一部会員	新規
山田 八千子	中央大学大学院法務研究科教授	第一部会員	新規
和田 肇	名古屋大学名誉教授・特任教授	第一部会員	継続

## (政治学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
大山 耕輔	慶應義塾大学法学部教授	第一部会員	継続
荻部 直	東京大学大学院法学政治学研究科・法学部教授	第一部会員	継続
鈴木 基史	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員	新規
谷口 尚子	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授	第一部会員	新規
眞柄 秀子	早稲田大学政治経済学術院教授	第一部会員	継続

## (経済学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
大垣 昌夫	慶應義塾大学経済学部教授	第一部会員	新規
大竹 文雄	大阪大学経済学研究科教授	第一部会員	継続
大野 由夏	北海道大学大学院経済学研究院教授	第一部会員	継続
岡崎 哲二	東京大学大学院経済学研究科教授	第一部会員	継続
上東 貴志	神戸大学計算社会科学センターセンター長	第一部会員	新規
黒崎 卓	一橋大学経済研究所教授	第一部会員	継続
西山 慶彦	京都大学経済研究所教授	第一部会員	新規
野口 晴子	早稲田大学政治経済学術院教授	第一部会員	新規
馬奈木 俊介	九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座教授	第一部会員	新規
溝端 佐登史	京都大学経済研究所教授	第一部会員	継続
森口 千晶	一橋大学経済研究所教授	第一部会員	新規

## (経営学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
西尾 チヅル	筑波大学ビジネスサイエンス系教授	第一部会員	継続
野口 晃弘	名古屋大学大学院経済学研究科教授	第一部会員	新規
原 拓志	関西大学商学部教授	第一部会員	新規

## (基礎生物学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所長・ATRフェロー	第二部会員	継続
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科分子生物学教室教授	第二部会員	新規

小林 武彦	東京大学定量生命科学研究科教授	第二部会員	新規
杉本 亜砂子	東北大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員	継続
武田 洋幸	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第二部会員	継続
深田 吉孝	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授	第二部会員	新規 (23-24 補欠)
三村 徹郎	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構特任研究員	第二部会員	継続

(統合生物学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所長・ATRフェロー	第二部会員	継続
北島 薫	京都大学農学研究科教授	第二部会員	新規
五斗 進	情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設教授	第二部会員	新規
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター教授	第二部会員	新規

(農学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
池田 素子	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	第二部会員	継続
経塚 淳子	東北大学生命科学研究科教授	第二部会員	継続
丹下 健	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	継続
土井 元章	京都大学大学院農学研究科教授	第二部会員	新規
中嶋 康博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	新規
仁科 弘重	愛媛大学理事・副学長	第二部会員	継続
松本 宏	筑波大学生命環境系教授	第二部会員	継続

(食料科学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
石塚 真由美	北海道大学大学院獣医学研究院教授	第二部会員	継続
熊谷 日登美	日本大学生物資源科学部教授	第二部会員	継続
高井 伸二	北里大学副学長・獣医学部長	第二部会員	継続
高山 弘太郎	豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所教授/愛媛大学農学研究科教授	第二部会員	新規
古谷 研	創価大学大学院理工学研究科教授	第二部会員	継続
眞鍋 昇	大阪国際大学学長補佐・人間科学部教授	第二部会員	継続

## (基礎医学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
五十嵐 和彦	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員	新規
伊佐 正	京都大学大学院医学研究科神経生物学分野教授	第二部会員	継続
遠藤 玉夫	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所シニアフェロー	第二部会員	継続
金井 好克	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員	新規
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授	第二部会員	新規
河岡 義裕	東京大学医科学研究所教授	第二部会員	継続
神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構高度被ばく医療センター副センター長	第二部会員	新規
神奈木 真理	東京医科歯科大学名誉教授・非常勤講師/関西医科大学客員教授	第二部会員	継続
小安 重夫	国立研究開発法人理化学研究所理事	第二部会員	継続
佐々木 裕之	九州大学生体防御医学研究所教授・高等研究院研究院長	第二部会員	新規
多久和 典子	石川県立看護大学名誉教授	第二部会員	継続
西谷 陽子	熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座教授	第二部会員	新規
松田 道行	京都大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員	継続
吉岡 充弘	北海道大学大学院医学研究院長・薬理学分野教授	第二部会員	継続
米田 美佐子	東京大学生産技術研究所特任教授	第二部会員	新規
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究院教授	第二部会員	新規

## (臨床医学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
天谷 雅行	慶應義塾大学医学部長・理化学研究所生命医科学研究センターチームリーダー	第二部会員	継続
荒井 秀典	国立長寿医療研究センター理事長	第二部会員	新規
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授	第二部会員	新規
越智 光夫	広島大学学長	第二部会員	継続
北川 雄光	慶應義塾大学医学部外科学教授・慶應義塾大学病院院長	第二部会員	新規
木村 通男	浜松医科大学附属病院医療情報部教授	第二部会員	新規
小松 浩子	日本赤十字九州国際看護大学学長	第二部会員	継続

澤 芳樹	大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科教授	第二部会員	新規
寺崎 浩子	名古屋大学未来社会創造機構特任教授	第二部会員	新規
戸田 達史	東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻臨床神経精神学講座神経内科学分野教授	第二部会員	継続
名越 澄子	埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科教授	第二部会員	継続
西村 正治	北海道呼吸器疾患研究所理事長／豊水総合メディカルクリニック医師	第二部会員	継続
藤井 知行	東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座教授	第二部会員	新規 (23-24 補欠)
藤原 康弘	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構理事長	第二部会員	新規
水口 雅	東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野教授	第二部会員	継続
三谷 絹子	獨協医科大学内科学教授	第二部会員	新規
光富 徹哉	近畿大学医学部外科学教室呼吸器外科部門主任教授	第二部会員	継続
山本 晴子	国立循環器病研究センター理事長特任補佐・臨床研究管理部長	第二部会員	新規

(健康・生活科学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
磯 博康	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員	新規
熊谷 日登美	日本大学生物資源科学部教授	第二部会員	継続
小松 浩子	日本赤十字九州国際看護大学学長	第二部会員	継続
杉山 久仁子	横浜国立大学教育学部教授	第二部会員	新規
多久和 典子	石川県立看護大学名誉教授	第二部会員	継続
西村 ユミ	東京都立大学教授	第二部会員	新規
宮地 元彦	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部長	第二部会員	継続
安村 誠司	福島県立医科大学理事・副学長・医学部教授	第二部会員	継続
山口 香	筑波大学体育系教授	第二部会員	新規
田辺 新一	早稲田大学創造理工学部建築学科教授	第三部会員	継続

(歯学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
市川 哲雄	徳島大学大学院医歯薬学研究部教授	第二部会員	継続



西村 理行	大阪大学歯学研究科教授	第二部会員	継続
村上 伸也	大阪大学大学院歯学研究科教授	第二部会員	新規

(薬学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
遠藤 玉夫	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所シニアフェロー	第二部会員	継続
佐治 英郎	京都大学特任教授・名誉教授	第二部会員	継続
望月 眞弓	慶應義塾大学名誉教授・薬学部特任教授	第二部会員	継続
山崎 真巳	千葉大学大学院薬学研究院准教授	第二部会員	新規

(環境学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科教授	第一部会員	新規
大塚 直	早稲田大学法学部教授	第一部会員	新規
高村 ゆかり	東京大学未来ビジョン研究センター教授	第一部会員	継続
馬奈木 俊介	九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座教授	第一部会員	新規
池邊 このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授	第二部会員	新規
石塚 真由美	北海道大学大学院獣医学研究院教授	第二部会員	継続
丹下 健	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員	継続
古谷 研	創価大学大学院理工学研究科教授	第二部会員	継続
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター教授	第二部会員	新規
浅見 真理	国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官	第三部会員	継続
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科教授	第三部会員	新規
三枝 信子	国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター長	第三部会員	新規
田辺 新一	早稲田大学創造理工学部建築学科教授	第三部会員	継続
春山 成子	三重大学名誉教授	第三部会員	継続

(数理科学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
伊藤 由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	第三部会員	新規
小澤 徹	早稲田大学理工学術院先進理工学部応用物理学科教授	第三部会員	継続

齋藤 政彦	神戸大学数理・データサイエンスセンターセンター長	第三部会員	新規
徳山 豪	関西学院大学理工学部教授	第三部会員	継続

(物理学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所教授・所長	第三部会員	継続
川村 光	豊田理化学研究所フェロー	第三部会員	継続
腰原 伸也	東京工業大学理学院教授	第三部会員	新規
田村 裕和	東北大学大学院理学研究科教授	第三部会員	継続
野尻 美保子	高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授	第三部会員	継続
森 初果	東京大学物性研究所教授・所長	第三部会員	新規
山崎 典子	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	第三部会員	継続

(地球惑星科学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
矢野 桂司	立命館大学文学部教授	第一部会員	新規
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	新規
川村 光	豊田理化学研究所フェロー	第三部会員	継続
三枝 信子	国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター長	第三部会員	新規
佐竹 健治	東京大学地震研究所地震火山情報センター教授	第三部会員	新規
田近 英一	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員	継続
中村 卓司	情報・システム研究機構国立極地研究所長	第三部会員	新規
西 弘嗣	東北大学学術資源研究公開センター教授	第三部会員	新規
春山 成子	三重大学名誉教授	第三部会員	継続
堀 利栄	愛媛大学理工学研究科教授・学長特別補佐	第三部会員	新規

(情報学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
相澤 彰子	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授	第三部会員	継続
相澤 清晴	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	第三部会員	継続
大倉 典子	芝浦工業大学名誉教授・SIT総合研究所特任教授 /中央大学大学院理工学研究科客員教授	第三部会員	継続
大場 みち子	公立はこだて未来大学教授	第三部会員	新規

下條 真司	大阪大学サイバーメディアセンターセンター長	第三部会員	新規
高田 広章	名古屋大学未来社会創造機構教授	第三部会員	新規
谷口 倫一郎	九州大学大学院システム情報科学研究院教授	第三部会員	継続
徳山 豪	関西学院大学理工学部教授	第三部会員	継続
萩田 紀博	大阪芸術大学アートサイエンス学科学科長・教授	第三部会員	継続
美濃 導彦	国立研究開発法人理化学研究所理事	第三部会員	継続
宮地 充子	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻教授	第三部会員	継続
山本 里枝子	富士通研究所フェロー	第三部会員	継続

(化学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
相田 美砂子	広島大学特任教授・学長特命補佐	第三部会員	継続
岡本 裕巳	自然科学研究機構分子科学研究所教授	第三部会員	新規
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科教授	第三部会員	新規
君塚 信夫	九州大学大学院工学研究院教授	第三部会員	継続
菅 裕明	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員	新規
菅原 洋子	北里大学名誉教授/豊田理化学研究所客員フェロー	第三部会員	継続
関根 千津	株式会社住化技術情報センター代表取締役社長	第三部会員	継続
玉田 薫	九州大学主幹教授・副理事	第三部会員	新規
茶谷 直人	大阪大学大学院工学研究科教授・環境安全研究管理センター長	第三部会員	継続
所 千晴	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員	継続
西原 寛	東京理科大学研究推進機構総合研究院教授	第三部会員	新規

(総合工学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
伊藤 公平	慶應義塾大学理工学部教授	第三部会員	新規
大倉 典子	芝浦工業大学名誉教授・SIT 総合研究所特任教授/中央大学大学院理工学研究科客員教授	第三部会員	継続
小山田 耕二	京都大学学術情報メディアセンター教授	第三部会員	継続
玉田 薫	九州大学主幹教授・副理事	第三部会員	新規
筑本 知子	中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授	第三部会員	継続
所 千晴	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員	継続
中川 聡子	東京都市大学名誉教授	第三部会員	新規

中野 義昭	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授	第三部会員	継続
宮崎 恵子	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所国際連携センター副センター長	第三部会員	新規
吉村 忍	東京大学副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員	継続

(機械工学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	継続
大島 まり	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授	第三部会員	継続
金子 真	名城大学理工学研究科教授	第三部会員	継続
須藤 雅子	ファナック株式会社研究開発推進支援本部本部長補佐(兼)FA事業本部事業本部長補佐	第三部会員	新規
高田 保之	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授/カーボンニュートラルエネルギー国際研究所主任研究者	第三部会員	新規
俣野 茂	独立行政法人国立高等専門学校機構理事/函館工業高等専門学校学校長/北海道大学名誉教授	第三部会員	継続
菱田 公一	明治大学研究・知財戦略機構特任教授	第三部会員	継続
光石 衛	東京大学大学執行役副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員	新規
宮崎 恵子	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所国際連携センター副センター長	第三部会員	新規
吉村 忍	東京大学副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員	継続

(電気電子工学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
相澤 清晴	東京大学大学院情報理工学系研究科教授	第三部会員	継続
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	継続
大橋 弘美	古河ファイナルオプティカルデバイス株式会社技術統括部長	第三部会員	新規
金子 真	名城大学理工学研究科教授	第三部会員	継続
三瓶 政一	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報通信工学専攻教授	第三部会員	新規 (23-24 補欠)
中川 聡子	東京都市大学名誉教授	第三部会員	新規
中野 義昭	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	第三部会員	継続

	教授		
宮地 充子	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻教授	第三部会員	継続

(土木工学・建築学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	新規
小池 俊雄	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) センター長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学連携教授	第三部会員	継続
小林 潔司	京都大学名誉教授/京都大学経営管理大学院特任教授・客員教授	第三部会員	継続
佐々木 葉	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員	新規
田辺 新一	早稲田大学創造理工学部建築学科教授	第三部会員	継続
前川 宏一	横浜国立大学都市イノベーション研究院都市地域社会専攻教授	第三部会員	継続
米田 雅子	慶應義塾大学環境・エネルギー研究センター特任教授	第三部会員	継続

(材料工学委員会)

氏名	所属・職名	備考(所属の部)	新規/継続
乾 晴行	京都大学大学院工学研究科材料工学専攻教授	第三部会員	継続
尾崎 由紀子	九州大学大学院工学研究院材料工学部門教授	第三部会員	新規
岸本 康夫	J F E スチール株式会社スチール研究所研究技監	第三部会員	新規 (23-24 補欠)
筑本 知子	中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授	第三部会員	継続
所 千晴	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員	継続
埜 隆夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授	第三部会員	新規
山口 周	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部特任教授	第三部会員	継続

令和 2 年 10 月 2 日

日本学術会議会長 殿

## 課題別委員会設置提案書

日本学術会議が、科学に関する重要事項、緊急的な対処を必要とする課題について審議する必要があるため、日本学術会議の運営に関する内規第 11 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり課題別委員会の設置を提案します。

## 記

1. 提案者 梶田 隆章（会長）
2. 委員会名 防災減災学術連携委員会
3. 設置期間 幹事会承認日から令和 3 年 3 月 31 日

## 4. 課題の内容

## (1) 課題の概要

日本および世界の防災減災が喫緊の課題となっている。防災減災・災害復興の推進には、地震、津波、火山、活断層、地球観測、気象、地盤、耐震工学、耐風工学、機械制御工学、水工学、火災、防災計画、防災教育、救急医療、看護、環境衛生、都市計画、土木、建築、農山漁村計画、森林、海洋、地理、経済、情報、エネルギー、歴史、行政など、多くの研究分野が関係する。

一方、学問の世界は専門分化がすすみ、他の専門の活動に関心が薄れ、他分野の研究・活動を暗黙に信頼することが多くなり、重要な議論はそれぞれの分野内で行われがちである。加えて、全体を統合する力も弱くなっている。防災対策は、専門分野の枠をこえて、理工系だけでなく社会経済や医療も含めて総合的かつ持続的に取り組む必要がある。これらの研究は専門分野ごとに深めるだけでなく、異なる分野との情報共有や平常時の交流を活発化させる必要がある。さらに、研究成果が国や地域の防災・減災対策に反映されるように、行政組織との連携を取ることも求められている。

東日本大震災を契機に、日本学術会議土木工学・建築学委員会が幹事役かつ要になり「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」を平成 23 年に設立し、30 学会による学術連携が進められてきた。

日本学術会議は、平成 26 年 2 月に「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」を制定した。これに則り、第 23 期の平成 27 年 7 月に日本学術会議幹事会附置委員会として「防災減災・災害復興に関する学術連携委員会」が設置され、平成 27 年 8 月の組織変更により課題別委員会の一つとなり、「自然環境・ハザード観測、防災・減災、救急・救助・救援、復旧・復興の研究に関わる日本学術会議協力学術研究団体を

含めた国内外の学術団体や研究グループとの平常時、緊急事態時における連携の在り方について検討すること」を目的として活動してきた。この活動は委員会名称を「防災減災学術連携委員会」に変更して第 24 期に継続している。

日本学術会議を要に進められてきた 30 学会による学際連携は、本委員会の設置と呼応するように、地震や津波だけでなく多くの自然災害への防災減災・災害復興を対象にして、より広い分野の学会の参画を得ながら、研究成果を災害軽減に役立てるため、平成 28 年 1 月に発展的に「防災学術連携体」として創設され、令和 2 年 9 月時点で 58 学会が参加している。

本委員会は、この防災学術連携体と連携して平常時から学会間の連携を深め、大災害等の緊急事態時には、学会間の緊急の連絡網として機能するべく備え、平常時から政府・自治体・関係機関との連携を図り、防災減災に役立てると共に、緊急事態時に円滑な協力関係が結べるように備える活動を行う。大災害への備えと対応は長期にわたるため、本委員会は基本的に継続性のある活動が必要である。

## (2) 審議の必要性

日本学術会議は先に述べたように、東日本大震災の体験を経て、大規模自然災害の発生時など緊急事態時において、学術の知見を的確に活用することが必要との観点から「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」（平成 26 年 2 月 28 日日本学術会議第 188 回幹事会決定）を作成した。その中で、緊急事態時には、幹事会を中心とした緊急事態対策委員会を設置して、声明・提言等の表出、政府への協力や連携、社会との連携、さらに関連分野の研究者との幅広い連携を行うことを定め、本委員会の活動を開始した。

特に、日本学術会議が関連分野の研究者、あるいは学協会と連携して活動することは、政府や社会との協力や連携の基盤となるものである。このような観点から、本委員会は防災減災・災害復興に関して、防災学術連携体などの自然環境・ハザード観測、防災・減災、救急・救助・救援、復旧・復興の研究に関わる日本学術会議協力学術研究団体を含めた国内外の学術団体や研究グループとの平常時、緊急事態時における連携の在り方について、検討する必要がある。

本委員会は、自然災害の発生時に緊急に行動を開始する必要がある、第 24 期から第 25 期の間空白の期間がないことが望まれる。さらに第 25 期初頭に計画している公開シンポジウム及び学術フォーラム（予定）の主催母体になっていることもあり、第 25 期の初めに 6 ヶ月の期間を限定してでも本委員会の設置が必要である。日本学術会議の第 25 期の体制が整った段階で、ここで述べている防災に関わる学術連携を支える新たな形の委員会の設置が必要と考える。

## (3) 日本学術会議が過去に行っている検討や報告等の有無

戦後に設立された日本学術会議は、人々が安心して暮らせる安全な国土と社会を構築することにおいても大きな役割を持ち、国内に生じた大きな自然災害の度に重要な提言を発表し、これに応じて産官学は研究開発を進め、徐々にではあるが同じ災害は起

きないようにとの努力を続けてきた。大震災・豪雨災害・津波災害などの後に自然災害・防災・復旧復興に関する提言が多く発出されている。

#### (4) 政府機関等国内の諸機関、国際機関、他国アカデミーの関連する報告等の有無

- ① 本委員会の活動の源流は、東日本大震災の後に日本学術会議を要として活動してきた防災に関わる学会連携「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」であり、2012年5月には学会連携の防災に関わる提言を発し、国土交通大臣、文部科学大臣などに手交した。
- ② 平成26年11月の防災に関わる仙台会議では、英文の声明をまとめ、世界に発信した。
- ③ 平成28年4月14日と16日に起きた熊本地震災害の後、4月18日に防災学術連携体の学会とともに共同記者会見を行い、5月2日に緊急報告会を開催し、7月16日に3ヶ月報告会、平成29年4月には一周年報告会を熊本県庁にて開催した。
- ④ 平成28年5月10日に、熊本地震に関する見解を世界に発信するために、日本学術会議会長の英文談話を、防災学術連携体代表幹事とともに発表した。
- ⑤ 平成30年7月16日に、日本建築学会会議室にて「西日本豪雨災害緊急集会」を開催した。防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、防災学術連携体から32名が参加し、西日本豪雨による被害状況、今後の対策について、報告・意見交換を行った。
- ⑥ 平成30年7月22日に、日本建築学会会議室にて「西日本豪雨・市民への緊急メッセージ」の記者発表を行った。
- ⑦ 平成30年9月10日に、日本学術会議講堂にて「西日本豪雨災害の緊急報告会」を開催した。また、直近に発生した台風21号および北海道胆振東部地震についても緊急の概要報告を行った。
- ⑧ 令和元年12月24日に、日本学術会議講堂にて「令和元年台風第19号に関する緊急報告会」を開催した。日本学術会議大会議室、大阪常翔ホールにてインターネットによる同時中継を行い、講演者、聴講者、報道関係者をあわせて720名の参加があった。
- ⑨ 令和2年5月1日に、本格的な雨季を迎える前に、新型コロナウイルスの感染について予断を許さない状況が続いているなかで、自然災害が発生すると複合災害に至る恐れがあり、今まで以上の備えが必要なことを、防災学術連携体幹事会から市民への緊急メッセージとして伝えた。

#### (5) 各府省等からの審議依頼の有無

- ① 内閣府のもとに設けられた防災推進国民会議は、我が国の主要な約50の団体、組織の長が議員に就任しているが、学術分野では、日本学術会議会長と防災学術連携体代表幹事の2名が議員を務めている。本委員会はこの活動を支える重要な機能を有している。



- ② 防災減災・災害復興には多くの市町村、都道府県から府省まで多くの行政が関わっている。これらから直接の依頼はないが、本委員会の活動ではこれらの行政と常に連携をとる必要があり、これまでも連絡を取りながら活動している。
- ③ 平成 29 年 6 月 2 日に、防災に関係する府省庁の関係機関との意見交換会を初めて開催。
- ④ 平成 30 年 6 月 5 日に、学術と行政の平常時の連携を強めるとともに緊急時の連携を図ることを目的として、防災減災学術連携委員会、防災学術連携体、内閣府防災担当、府省庁の防災関係者と「第 1 回防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」を開催。
- ⑤ 令和元年 6 月 13 日に「第 2 回防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」を開催。
- ⑥ 令和 2 年 7 月 15 日に「第 3 回防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。
- ⑦ 平成 28 年 8 月 28 日に東京大学安田講堂で開催された第 1 回防災推進国民大会において第 1 回 防災学術連携シンポジウム「52 学会の結集による防災への挑戦-熊本地震における取組み-」を開催した。熊本地震における現象、被災状況等を解説するとともに、防災に関わる先端的技術・研究を、一般市民を対象として分かりやすくビジュアルで紹介した。日本学術会議及び各学会の研究者が揃い、防災学術連携体の紹介と学会連携で日本の防災力を高めていくことを宣言した。
- ⑧ 平成 29 年 11 月 26 日に仙台国際センターで開催された第 2 回防災推進国民大会において、日本学術会議公開シンポジウムを開催した。団体別セッション「衛星情報・地理情報と防災イノベーション」、連携セッション「衛星情報・地理情報を防災に生かそう」の 2 つのセッションを開催した。第 2 回防災推進国民大会に合わせて、仙台ぼうさいこくたい憲章が発表された。この執筆にも協力した。
- ⑨ 平成 30 年 10 月 13 日、14 日に東京ビッグサイトで開催された第 3 回防災推進国民大会において、日本学術会議公開シンポジウム「あなたが知りたい防災科学の最前線-首都直下地震に備える-」を開催した。市民、専門家、行政関係者を合わせて、500 名を超える参加があった。
- ⑩ 令和元年 10 月 19 日、20 日に名古屋市ささしまライブ 24 エリアで開催された第 4 回防災推進国民大会において、日本学術会議公開シンポジウム「あなたが知りたい防災科学の最前線-激化する気象災害に備える-」と題したセッションを開催した。市民、専門家、行政関係者を合わせて、150 名を超える参加があった。

## 5. 審議の進め方

### (1) 課題検討への主体的参加者

第一部、第二部および第三部の多くの分野の専門家が必要である。防災減災に関連する第三部関係の専門家が相対的に多くなるであろうが、分野横断的な議論ができる構成とすることが必要である。

### (2) 必要な専門分野及び構成委員数

多くの専門分野から選出する会員、連携会員、計 25 名以内。

### (3) 中間目標を含む完了に至るスケジュール

- ① 内閣府のもとに設けられた防災推進国民会議の学術分野からの議員として日本学術会議会長と防災学術連携体代表幹事が議員を務めており、この活動を充実させる必要がある。
- ② 令和 2 年 10 月 3 日に広島と東京を拠点としてインターネットを利用して開催される第 5 回防災推進国民大会において、本委員会と防災学術連携体との共同主催により、公開シンポジウムを開催する。
- ③ 令和 3 年 1 月 14 日に学術フォーラム「東日本大震災からの十年とこれから」(予定) を実行する。
- ④ 防災学術連携体と協力して令和 2 年度及び 3 年度の防災減災・災害復興に関わる分野の活動計画を立てる。
- ⑤ 本委員会は、先にも述べたが「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」に対応した活動を行っており、日本学術会議を要にして進む学会の垣根を超えて多くの学会が参加する学術連携を継続的に行う必要がある。ただし、現状の組織は、3 年が期限の課題別委員会であり若干不安定である。災害対策は長期に亘るため、この 6 ヶ月の期限の間に安定的な委員会の仕組みを検討する。

## 6. その他課題に関する参考情報

以下の事項について、必要な審議を行う。

1. 「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」に基づく、「防災学術連携体」などの災害研究学術団体等との緊急事態における連携に関する事項
2. 「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」に基づく、「防災学術連携体」などの災害研究学術団体等との平常時からの連携に関する事項
3. 平常時、緊急事態時における、日本学術会議及び「防災学術連携体」などの災害研究学術団体等と、政府関係機関との協力・連携の在り方に関する事項

## ●防災減災学術連携委員会設置要綱（案）

〔令和 2 年 ○ 月 ○ 日〕  
日本学術会議第○回幹事会決定

### （設置）

第 1 日本学術会議会則第 16 条第 1 項に基づく課題別委員会として、防災減災学術連携委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### （職務）

第 2 委員会は、自然環境・ハザード観測、防災・減災、救急・救助・救援、復旧・復興の研究に関わる日本学術会議協力学術研究団体を含めた国内外の学術団体や研究グループ（以下「災害研究学術団体等」という。）との平常時、緊急事態時における連携の在り方に関する事項を審議すると共に、これらの学術団体や研究グループ、関連機関・組織との連携を図る。

### （組織）

第 3 委員会は、25 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。

### （設置期限）

第 4 委員会は、令和 3 年 3 月 31 日まで置かれるものとする。

### （庶務）

第 5 委員会の庶務は、事務局各課・参事官の協力を得て、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。

### （雑則）

第 6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

### 附 則

この決定は、決定の日から施行する。

(防災減災学術連携委員会)

氏名	所属・職名	備考
安村 誠司	福島県立医科大学理事・副学長、医学部教授	第二部会員
小池 俊雄	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学連携教授	第三部会員
中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授	第三部会員
米田 雅子	慶應義塾大学環境・エネルギー研究センター特任教授	第三部会員
大西 隆	東京大学名誉教授	連携会員
田村 和夫	建築都市耐震研究所代表	連携会員
平田 直	国立研究開発法人防災科学技術研究所参与兼 首都圏レジリエンス研究センター長	連携会員
目黒 公郎	東京大学生産技術研究所教授	連携会員
森口 祐一	国立研究開発法人国立環境研究所理事	連携会員
山本 あい子	四天王寺大学看護学部長・看護学研究科長	連携会員
吉原 直樹	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授	連携会員
和田 章	東京工業大学名誉教授	連携会員